ます。しかもコース自体の面白さ、メンテナンスのよさが順位に直結。プレーそのものの質を高めることに特化したゴルフ場が、正当に評価されているということでしょう」(菊地氏)

4~6位に、北海道を代表する3コースが並んだ点も興味深い。

「〝旅行に行くなら北海道〟ということで、皆さん仲間とゴルフツアーを組んで、いい思い出を残されたのでは? やはり洋芝には特別感がありますし、トーナメント会場というブランド力もあります。レイアウトやメンテナンスも文句ナシでしょう」(菊地氏)

今回は5つの項目ごとに回答を募ったが、各ゴルフ場が獲得したポイント数を見ると、経営面の実情も垣間見えるという。

「コースコンディションの維持、コースやクラブハウスの改修などには相当な資金が必要ですが、それらに積極的に投資できるゴルフ場は、やはり集客力も高い。一方で、そうした体力を持ち合わせていないゴルフ場は、ますます集客に苦労するようになるかもしれません」(菊地氏)

2020年問題などイマイチ明るい話題の少ないゴルフ業界だが、ランクインしたコースがゴルフ人気を牽引し、盛り上げていってくれることを願いたい。

総合ランキング

順位	都道県名	ゴルフ場名	ポイント合計
1	千葉県	カレドニアン・ゴルフクラブ	105
2	静岡県	太平洋クラブ御殿場コース	97
3	茨城県	大洗ゴルフ倶楽部	90
4	北海道	小樽カントリー倶楽部 新コース	78
5	北海道	札幌ゴルフ倶楽部 輪厚コース	66
6	北海道	北海道クラシックゴルフクラブ	58
7	東京都	小金井カントリー倶楽部	57
8	宮崎県	フェニックスカントリークラブ	50
9T	静岡県	川奈ホテルゴルフコース 富士コース	48
9T	千葉県	成田ゴルフ倶楽部	48
11	栃木県	烏山城カントリークラブ	45
12	茨城県	イーグルポイントゴルフクラブ	44
13	千葉県	平川カントリークラブ	42
14	茨城県	ザ・ロイヤルゴルフクラブ	40
15	千葉県	東京クラシッククラブ	39
16	山梨県	富士桜カントリー倶楽部	37
17	長野県	軽井沢72ゴルフ 北コース	32
18T	千葉県	我孫子ゴルフ倶楽部	30
18T	栃木県	日光カンツリー倶楽部	30
18T	千葉県	マグレガーカントリークラブ	30
21T	茨城県	大利根カントリークラブ	25
21T	神奈川県	平塚富士見カントリークラブ	25
21T	千葉県	紫カントリークラブ すみれコース	25
24T	茨城県	茨城ゴルフ倶楽部	24
24T	兵庫県	小野東洋ゴルフ倶楽部	24
24T	茨城県	セゴビアゴルフクラブ イン チヨダ	24
24T	東京都	東京よみうりカントリークラブ	24
24T	神奈川県	戸塚カントリー倶楽部	24
24T	栃木県	那須ちふり湖カントリークラブ	24
24T	千葉県	成田ヒルズカントリークラブ	24
24T	埼玉県	日高カントリークラブ	24
24T	兵庫県	廣野ゴルフ倶楽部	24
24T	北海道	北海道ブルックスカントリークラブ	24
24T	神奈川	横浜カントリークラブ	24
35	静岡県	葛城ゴルフ倶楽部	23
36	千葉県	カメリアヒルズカントリークラブ	22
37T	茨城県	太平洋クラブ 美野里コース	21
37T	千葉県	鷹之台カンツリー倶楽部	21
37T	千葉県	千葉バーディクラブ	21
37T	茨城県	龍ヶ崎カントリー倶楽部	21

超高速グリーンが名物のカレドニアンGCが首位

プレーそのものを心から楽しみたい——まさに〝本気ゴルファー〟の思いが票数につながったといえよう。総合ランキング1位に輝いたのはカレドニアンGC。ゴルフ発祥の地・スコットランドのリンクスを基本理念に造られた18ホールは、数々のビッグトーナメントの舞台となった。そのレイアウトの妙が、挑む者のやる気をたきつけ、虜にする。

「レベルに応じてプレッシャーのかかり方が違う。ティグラウンドの選択肢も多いので、どのレベルのゴルファーも楽しめる」(鹿又芳典氏/ルフマガジン誌の2017年度「世界ゴルフ100選」では、68位に選出。国内外での人気をうかがわせる。

「海沿いのコースで非常に美しく、日本でプレーしている感じがしない。その半面、プレー中はまったく油断できない。そのギャップが素晴らしい」(呉 宗憲氏/オーデマ ピゲ)

「料理はすべてレベルが高く、特に『ロブスターと帆立貝のカレーライス』は訪れたら一度は口にしたい逸品です」(高田順史/プロゴルファー/チームセリザワゴルファカデミー)

会員を中心に運営している成田GCも、9位タイにランクイン。設計は川田太三。コースは戦略性と審美性を追求したオーソドックスな造りで、飽きのこないレイアウトになっている。

「日本において初開催の米チャンピオンズツアー。その直後のコースメンテナンスは素晴らしかった。グリーンの仕上げは、ほぼ同時期に開催されていた大会会場のどのゴルフ場と比べても、夏場の時季でありながら最高の仕上がり」(飯島敏郎氏/TPC代表取締役社長兼CEO)

「連日続いた雨で、プレーする日も午前中が豪雨。にもかかわらず、芝のコンディションがよかった」(川崎圭太氏/リシャール・ミル ジャパン代表取締役)

部門別ランキング

コースメンテナンス部門 BEST3

1位タイ	北海道	小樽カントリー倶楽部 新コース
1位タイ	千葉県	カレドニアン・ゴルフクラブ
3位タイ	東京都	小金井カントリー倶楽部
3位タイ	静岡県	太平洋クラブ御殿場コース
3位タイ	千葉県	成田ゴルフ倶楽部
3位タイ	千葉県	平川カントリークラブ
3位タイ	北海道	北海道クラシックゴルフクラブ

人の手による丁寧な作業がコンディションをよりよくする!

ゴルファーにとって、コースメンテナンスのよしあしは重要な評価ポイント。プレー料金が高いので期待して行ったら、グリーンがイマイチで興ざめなんてことも。逆に、こなれた料金なのに手入れが行き届いていると、得した気分に。

上位に挙がったのはいずれもトーナメント開催コースだけに、メンテナンスはピカイチ。

1位タイのカレドニアンGCでは、コース管理スタッフだけでなくハウススタッフも常にコースをチェックし、加えてメンバーも目土やボールマークを積極的に行っているという。みんなでコースを守ろうという意識が、何ともすがすがしい。

同じく1位タイの小樽CC新Cは、常に最高のグリーンコンディションを維持するため、カタピラ(雑草の一種)は専用スタッフが手摘みで除去。丁寧な手作業で、極上のコンディションをキープしているのだ。

総合ランキングでは13位だが、当部門3位タイに入ったのが平川CC。2005年に日神不動産のグループ会社となり、顧客満足度を高めるべく試行錯誤を続けてきた。

「全社員、コースが一番の商品であることを念頭に置いています。接客などはもちろん大切ですが、コースメンテナンスを最優先事項として、運営しています」(取締役支配人/神保 操氏)

その努力の成果は、「グリーンコンディションが素晴らしい。目土もしっかりしている」(荒井義明氏/ゴルフエフォート)、「年間を通してグリーンクオリティーがいい。山林等細部の整備も行き届いている」(ゴルフ練習場スタッフ)という回答者の声が物語っている。

平川CCについては「一見雄大で広々。だが落としどころは限られていて、正確なショットでないとすぐにボギー、ダボに」(山崎将志氏/アジルパートナーズ代表)との回答あり

レイアウト部門 BEST3

1位	茨城県	大洗ゴルフ倶楽部
2位タイ	千葉県	カレドニアン・ゴルフクラブ
2位タイ	静岡県	太平洋クラブ御殿場コース

独特の景観と造りが魅了! 大洗GCがダントツの1位

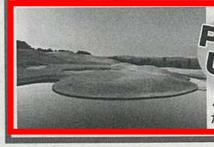
コースレイアウトが面白いと高ポイントを得たのは、大洗GC。コースはフラットだが、手づくりのアンジュレーションが効いており、密集した松林が戦略を左右する。

「OB、ハザードが少なく、逆にいえば松林しかないのですが、不思議と飽きがきません。何度でも挑戦したい気持ちにさせられると思います」(業務部/大塚喜一郎氏)

そして、2位タイにはカレドニアンGCと太平洋C御殿場C。

なお4位タイに入った、烏山城CCと札幌GC輪厚Cもまた大洗GC同様、井上誠一の設計である。烏山城CCに関しては造形美と高度な戦略性が見事に融合した27ホール。2016年には日本女子オープンの会場となり、知名度をさらに上げた。

大洗GCはレイアウトの面白さで、さすがの1位に輝いた



4位タイの烏山城CC。戦略性が高くチャレンジしがいが満点